

衆議院議員

早稲田 ゆき

わせだ

わせだゆき Profile

白百合学園 卒業
早稲田大学 法学部 卒業
旧日本輸出入銀行（現国際協力銀行）
2005～鎌倉市議会議員（2回）
2011～神奈川県議会議員1期目
2015～神奈川県議会議員2期目
2017.10 衆議院議員に初当選

内閣委員会
災害対策特別委員会
子ども子育てPT事務局長
障がい者難病ケア事務局長
神奈川県合気道連盟 特別相談役
栄区奉子ダンス協会 顧問
栄区剣道連盟 顧問



わせだゆき 検索

ひまわり通信86号

5%を視野に消費税の減税を！

2019年10～12月期GDP（国内総生産）は、物価の変動を除いた実質で前期1.6%減、年換算で6.3%減と5四半期ぶりにマイナスに転落。昨秋の消費増税が家計消費を落ち込ませているのはあきらかです。

早稲田ゆきは、子育て家庭や高齢者世帯、障がい者に負担の大きい消費税を減税するための提言書を、有志とともにとりまとめました。

大企業の法人税や金融所得などの累進強化で財源を代替し個人商店などの小規模事業者に大きな負担となるインボイス制度の導入中止（政府は2023年度導入予定）などを訴えています。**早稲田ゆき**は、同僚議員とともにさらにこの政策を練り上げ、消費税引き下げに向けて、精一杯とりくんでまいります。



早稲田ゆきの国政報告 永田町だより

予算委員会1

新型コロナウイルスのまん延防止に全力で取り組んでいます

2月7日 **早稲田ゆき**は新型肺炎について予算委員会で質問。確たる治療法がまだない新型肺炎。中国湖北省からの帰国者、横浜港に停泊中のクルーズ船の対応など、水際対策が後手に回っている状況です。委員会は水際対策の強化として、中国全土の邦人に帰国を勧告し、**渡航中止も勧告すべきと外務大臣に直談判**。**早稲田**



2月7日 予算委員会での質問の様子

ゆきの提案から5日後、外務省はようやく「日本への早期の一時帰国や中国への渡航延期を至急ご検討ください」と呼びかけをしましたが、

「勧告」ではなく効果に疑問です。クルーズ船内の乗客からも**早稲田ゆき**は直接話しを伺い、検疫の迅速化、指揮系統の一元化などを内閣官房の危機管理担当者と議論。全国各地での重症化を防ぐ専門外来の設置、官民挙げての検査、診療体制の整備、治療薬の開発、ワクチン研究などに**不要不急の予算を組み替えて、集中的にとりくむべきです**。そのために必要な**法改正も視野に、全力でとりくんでいます**。

早稲田ゆきの2月7日の質問はYoutubeでご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=7YZNQtav87I>

QRコード読み取りで2月7日の
早稲田ゆきの質問動画へ！



山中教授 iPS 細胞支援を打ち切るような税金の私物化は許されない!

RIKKEI MINSHU 号外
2020.02.19



2月7日 予算委員会での質問の様子

難病患者が待ち望む山中伸弥教授によるiPS細胞研究の実用化のための予算を密室で削減しようとしたり、新型コロナウイルス対策に使えるはずだった予算を、急ぐ必要性の低いゲノム解析につけてしまうなど、総理官邸の権力を笠に着た一部官僚により医療分野の研究開発予算が私物化されている実態に、厳しく切り込んでいます。



事務所長

岡田かずのりの つぶやき その5

不足する自転車等駐輪場の現状

鎌倉市内には公営・私営の自転車等駐輪場があります。駐輪場は増設で整備されてきていますが、利用者がそれ以上に増えて整備が間に合わなくなっている状態です。

下のグラフのように自転車待機台数は昨年7月時点で鎌倉駅前西口駅直近の自転車待機台数は2016年から2020年まで257台⇒310台へ、御成通り付近の駐輪場では210台⇒286台へと増加傾向にあります。また、大船駅西口駅直近の改築された駐輪場の待機台数は2018年から2020年まで290台⇒298台へと微増、JR大船駅西口駅前の神奈川中央交通のバス広場下の駐輪場では2016年から2020年7月まで279台⇒152台へと減少傾向にあります。比較的高止まり傾向にあります。

JRの電車を利用する人々の乗降者数は、ほぼ横ばいが続いています。自転車等の利用者が増加している中、駅前周辺における空地や民間業者などの駐輪場建設などアンテナを広く張り巡らせて、駅前の駐輪待機台数の解消を一日も早く目指す必要があると思います。

2020年2月10日記

鎌倉駅西口前の自転車待機台数5年分の推移



大船駅西口前の自転車待機台数 5年分の推移



逗子土砂崩れ対策は急務

2月5日の逗子市池子土砂崩れ事故を受け、7日国交省国土技術政策総合研究所が調査に入りました。全国的に斜面地の樹木管理が放置された結果、崩落事故が頻発。公有地、民有地どこでも発生しうる問題で、対策は急務です。国として何をすべきか

早稲田ゆき は今後も調査してまいります。



2月7日 国交省調査の様子

早稲田ゆき 国政報告会延期 危機管理に全力!

2月22日開催の「早稲田ゆき あなたと国政を語る会」は、200名を超える参加のお申し込みを頂戴しておりましたが、この度の「新型コロナウイルス(COVID-19)」の感染拡大の状況を踏まえ延期する決定を致しました。次回開催の時期につきましては、6・7月頃を見込んでおります。日程が決まりましたら再度告知申し上げます。今後とも、国政を預かるものとして公衆衛生上の危機管理に全力で取り組んで参ります。

※ 数値は、鎌倉市情報公開条例に基づく資料請求による資料より